

令和3年(2021年)10月26日(火曜日)

# ホテル移設、賃貸住宅導入

## 工事費増 補助金は精査

### 三島駅南口再開発

三島市のJR三島駅南口で広域健康医療拠点や高層マンションを建設する再開発事業について、準備組合がまとめた施設計画と資金計画の概要が25日までに関係者への取材で分かった。建設予定のホテルは隣接する定期借地区域に移し、お試し居住やワーケーションの需要を見越して賃貸住宅を導入する。市営駐車場の台数は50台程度増やす計画。

準備組合が作成したの負担分は4億円増の資金計画では工事単価29億円で、駐車場取得の上昇により総事業費を合わせた合計額は38億円としたが、関係者によると「あくまでも増の209億円とし、組合側の希望的観測」。

国、県、市が支出する補助金は計13億円増の88億円を見込んだ。市額は減少する可能性も今後、市の精査で負担額が減少する可能性も部分健康、医療、子育ての公益施設とするほか、エリア全体で健康や医療に関連した施設整備を進める。賃貸住宅と定期借地区域に移すホテルの低層階はいずれも商業施設の導入を検討している。

今後、本年度末までに事業計画と資金計画を踏まえて組合設立、2022年度中に権利変換計画の認可を受け、23年度に着工、26年度に竣工の予定。

(三島支局・金野真仁)